No.71
公民館だより
62.3
由良地区公民館

由良公民館だよりの発行番号表示について

公民館長　小松忠衛

昨年の暮、四方寿朗元館長から「由良公民館だよりは現在年三回ということで発行されているが、今までに何号まで出されただろうか、このたよりは由良公民館の歴史の歩みだから調査してみては」とのお話しがあり、早速調査を始めましたが、公民館で管理保存してこる綴り込みの中には古いものがなく、歴代の館長、主事さんにお願いして情報を収集特に四方先生からは貴重な資料をいただき、今回発行の公民館だよりが第七十一号となることが判明しましたので、発行年月と同時に発行番号も表示することにしました。

資料によりますと、由良公民館だよりとして定期的に発行されたのは、第四代館長岸田六右衛門氏在任中の昭和三十九年六月二十九日付のものであり、それによると、発刊の主旨は、「今までの公民館運動をよりみなさんのものにして、よりよい地区民の発展のために、公民館運動の状況を連絡する機関紙として発行することにしました。将来は、この紙面を通じて意見の交換の場とし、又、意見発表の場として発展するよう希望いたします。皆さん方のご協力をお願い致します。」と書かれています。

由良公民館では、この歴史ある公民館だよりを一層充実した内容のものとして継承していくために皆様方の投稿をお待ちしています。どうぞご協力下さい。

報告

主事　平間克巳

一　第二回市民網引大会
日　時　昭和六十一年二月七日（日）
午前八時三十分
会　場　宮津市民体育館
参加チーム　男子チーム　二十組
女子チーム　九組
チーム構成　監督一名　マネージャ！一名
選手八名　交替選手　二名
由良チーム　A組　B組
当日は、折悪しく雨降りで陰気な天候であったが、会場の市民体育館に入るや、緊張した雰囲気が漂い、戦意に燃える。
先ず由良B組は、Bゾーンに出場、田井マリンに惜敗したが、エネ研に快勝し、二位となる。
由良A組は、Cゾーンに出場し、「杉ノ末B」に勝ち、「浪花チーム」を倒し、Cゾーン一位となり、準優勝戦に進む。準優勝戦の相手チームは、前回の網引大会で降した「上宮津Bチーム」で、これに勝てば優勝戦に進むこの一戦こそと力闘した。一時は吾が方有利な場面もあったが、不運にも敗れた。

成績　優勝　上宮津Aチーム
準優勝　上宮津Bチ！ム
三位　由良Aチーム

二　新春囲碁大会
日　時　昭和六十二年一月二日　午前九時
会　場　老人憩の家

三　成人式
日　時　一月十五日　午前十時
会　場　宮津会館
宮津市成人対象者数　二百九十三名
（男百三十名、女百六十三名）
成人式に出席した由良成人数
十九名（男八名、女十一名）
出席の由良成人の紹介
（敬称略、アイウ順）
脇　塩見清一、土岐　忍
宮本黒田永森
玉垣真規子、鈴木恵美子、松本
理津子、中垣真喜子、明美清
浜野路足立和明、糸井直美
大屋由美子、北野真美
玉垣光紹、中西正美
吉岡誠、
港
川崎重美、山田浩
石浦桝田真
下

四　第二回同和学習会
日　時　一月二十五日
午後一時から午後四時まで
会　場　由良の里センター
内　容
①　講演「部落の歴史と解放への歩み」和田敬之助先生
②　映画「青春のかけ橋」
③　分散会

特に今年の記念品の中に、宮津線を守りその実績を挙げるため、また、成人達にも尊い経験として、五〇〇円の国鉄ギフト券が一枚入っていたのが、印象的であった。
更に、今年から記念写真は、従来の白黒から カラー写真になったことも良かった。
尚、今年の成人の連絡係として
男　足立和明君　女　中西正美嬢
成人式前と式後と、色々とお世話になりました。厚くお礼申し上げます。

助言者紹介
社会同和教育指導員　和田敬之助先生
社会教育指導員　永吉俊靖先生
社会教育主事（市教委係長）　小倉勇次郎氏
社会教育主事（市教委主事）　尾崎吉晃氏
宮津市人権擁護委員　小室二三子氏
栗中教諭同和担当　上田玲子先生

参加者　四十四名
内訳　公民館十三名　婦人会十六名
一般男子十五名

分散会　A　B　Cの三分散会
前回の分散会は、男女別の分散会であったが、今回の各分散会は、男女を交えた。
詳しい報告は紙数の都合で、次回の公民館だよりに掲載致しますので、悪しからずご了解願います。

五　第七回四部対抗男女バレーボール大会
日時　二月八日（日）午前九時
会場　由良小学校　体育館
今年は暖冬、足下の良い日であった。
今回は特に準備体操をして、試合にはいりました。この大会は、各部の選手が、精一杯の戦いで、敗れても悔いのないすがすがしい大会である。家庭的にも、一軒から夫婦揃って出場選手の健康一家もあり、乳飲みの孫を連れて、父母の戦う姿を見せようと、祖父母の孫を抱いての応援も、この大会ならではの、和やかな風景である。

成績
男子の部
優勝　一部
準優勝　二部
三位　三部
四位　四部
女子の部
優勝　三部（四年連続）
準優勝　二部
三位　四部
四位　一部

六　第六回四部対抗囲碁大会
日時　二月八日（日）午前九時三十分
会場　由良の里センター
今年も残念ながら、一部欠場のまま開催した。会場は冗談や笑声の和やかな雰囲気の中で行われ、楽しみつつも盤面を見つめる目は鋭い。妙手を求め戦っている表情に勝負の醍醐味を感じる。
然し、来年も一部欠場ならば、四部対抗の意義もなく、実現は難しいだろう。

成績
優勝　二部
準優勝　三部
三位　四部

七　第二回自治学級
日時　二月十五日（日）
午後一時から午後四時まで

会場　由良の里センター
テーマ　「宮津市政」　「村づくり」
特に皆の関心は、宮津線廃止決定後の動向、地域住民の宮津線を残したい願望を、如何に生かすかにあり、当日参加の五十名の地域住民の生々しい声を聞きたいと、朝日・毎日の両新聞からも記者が参加し、最後まで熱心に傍聴していた。
詳しい報告は、小松公民館長より掲載致しますので、以上で終わります。

報告二

購入新刊書の紹介

1 いのち　上中下　橋田寿賀子
2 忠臣蔵　上下　森村誠一
3 線路のない時刻表　宮脇俊三
4 哀しみの女　五木寛之
5 雪のアルバム　三浦綾子
6 チョッちゃんが行くわよ　黒柳朝
7 母の言いぶん　高森和子
8 帰り道を忘れた男たち　山口洋子
9 親の姿　子の心　高田好胤
10 螺旋階段をおりる　夏樹静子
11 お定年　加藤仁
12 母の加護　日本エッセイストクラブ編
13 警察回り　本田靖春
14 日本はこうなる　糸川英夫
15 ロシアについて　司馬遼太郎
16 用心棒日月抄　藤沢周平
17 父からの贈りもの　加山雄三
18 駅　森村誠一
19 化身　上下　渡辺淳一
20 死の医学への序章　柳田邦男
21 教育随想　三浦朱門
22 心眼の人　山本覚馬
23 井上成美　阿川弘之

公民館の自治学級（62・2・15）
テーマ「宮津市政と地域づくり」

公民館長　小松忠衛

市の行政については、広報みやづ、回覧によってその大綱を知る、言わば一方通行の形が多く、私達市民の声が上へ届きにくい。
私達市民は、市の行政について、もって関心をもって見守る態度が大切であり、私達の考え方意見が、もっと行政に反映されなければ、生きた市の行政にはならないと思います。
そういう意味あいから、少なくとも年一度位は、市の行政について報告を聞き話し合うことは、市民としての義務であろうと思います。
又、由良の問題についても、膝を突き合わ

せての話し合いの中で、連帯感を深め、知恵を出し合って、チームワークづくりをすることこそ、地域の発展につながるものだと思います。

今正に、宮津線が第三セクターか、バス転換かの選択に迫られており、そのいずれを択ぶかは、地域の発展を大きく左右することになる。どうすればこれ以上過疎の進行を食い止めて生き残れるか、地域の皆さんのお考えやらご意見をお聞きするために、本年度第二回の自治学級を開設しました。

宮津線の廃止承認から間が無いこともあり、又、いずれを択ぶか大変難しい問題でもあるので、まだ整理がつかない様子が伺われましたが、活発な意見の交換がありました。他の問題も含め、その主なものをお知らせします。いずれ又、関係筋からお考えを求められる機会もあることと思いますので、皆さん方のお考えをまとめていただくための参考にして下さい。

尚、同和学習会の報告は紙面の都合で、次の公民館だよりになります。ご了承下さい。

◎議員さんより

市としては、バス転換ではどうにもならないので、第三セクターで鉄路として残すことを考えざるをえないが、経営についての問題は大きく、又、宮福線とのかかわり、兵庫県とのかかわりもあり、どういう形で残すかは今後宮津線問題対策協議会において、全体の意向を把握しないと、今のところ何とも言えないが、残すためには、利用されやすいように、ダイヤ・駅舎の数など便利さは勿論のこと、人件費の切り詰め、自治体や関係住民の負担増等、相当の心構えがいる。

又、府の理解と、大きな財政援助を必要とするので、府へも積極的にお願いしていくが、府全体の問題とすると、難しい内容もあり、関係自治体及び地域住民の協力態勢が大切である。

いずれにしても関係地域住民の意向を聞き対策協議会で検討していくことになると思う。

◎出席者の主な意見

○鉄路で生かしたいが、自治体・住民の財政負担とのかかわりをはじめ難しい問題だ、住民の経営参加の立前が大事。

○私達の生活を中心に考えていくべきで、負担が生活にまで響いてくるようになると大変である。

○第三セクターとして残す心構えを持つべきである。本音を言えば、西舞鶴山田間なら経営できるのでないか、又、宮福線と宮津西舞鶴との一本化がのぞましい。

○第三セクターの考え方はいろいろあろうが、もう少し問題点を整理して、考え易いようにして出してほしい。

●バス転換という意見は出なかった。

□

○地域の発展についての主な意見

人口の目減りを押さえることが活性化につながる。工場誘致できるような考えているか。（前向きの答弁あり）

○地域経済を考えても企業誘致が必要、栗田地区に用地があると思うが。

○交通網の早期の充実を待っている。特に、近畿自動車道舞鶴線は由良の観光に大きく影響する。開通を急いでほしい。（答弁あり）

○広域圏観光構想は結構だが、栗田・由良観光圏については、由良でのメリットは無いと思う。

○市の広域観光開発計画には、由良地区の開発が含まれていない。由良の自然の魅力、これを開発するようにしてほしい。由良自体の活性化を考えるべきだ。

◎議員さんより

由良の開発は勿論である。由良地区においても、住民サイドで地域の問題として、特産品、文化の開発など工夫してほしい。

○宮津エネ研協力金の由良への割り当てはないのか。（残念だが現在はない。その使途の説明あり）

○市民は市内での買物をお願いしたい。

○観光問題にしても、農業問題にしても地域の問題として、自治会で取り組んでほしい。

□

○その他の問題

投票所が狭い、投票の秘密が守られないのでは困る。（衆参同日選挙では混雑したが、普通選挙では支障がないと思うが検討はしてみるとの答弁あり）

健康シリーズ

やぶにらみの記 ⑥

四方壽朗

これまで五回、三大死亡原因とその予防について書いたが、一段落したので、今回から十年前由良老友会総会の話の種に私がつくった「健康いろはカルタ」を順に書くことにする。

い　生きる喜びかみしめて

これは綾部の大槻順市氏の作を借用したもの。人は病気になってはじめて健康の有難さを知る。死を目前にして、生命の尊さを思い知らされる。

私は朝起きて先ず心地よく出る小便に「有難う」と心の中でお礼を言う。まともに尿が出ず、人工透析でやっと命をつないでいる人もあるからだ。幸せの真っただ中にある者程それに気が付かない。

寝たきりの人、耳や目の不自由な人など、世の中には苦しみに堪えて一生懸命生きている人も多い。少々のことで不平を言うと罰が当たる。常に感謝の気持を忘れず、毎日を送りたいものだ。

犯罪防止について

由良駐在所　出口雅裕

一　はじめに

最近の都市化の進展や、科学技術の著しい進歩等にともない犯罪形態も、悪質化・巧妙化・潜在化の傾向にあり、さらに社会構造の変化は犯罪に質的変化をもたらしています。また、モータリゼーションの成熟により、犯罪の広域化が進み、被害件数の増加に拍車をかけている状況にあります。

これらに対応するため、警察としては従来の治安水準を維持することから、各種の施策を講じ、体質強化に努めています。

二　由良管内犯罪概況

由良管内について見てみましても、先に述べましたように、そういった時代の変遷の影響はまぬがれないと思います。

夏期におけるこの被害について見てみますと、ここ一～二年の間に水着盗が倍増しており、中には昼間に被害があったものもあり、悪質化の傾向にあります。自転車盗についてはイ乗り」的な使用窃盗が多く、ほとんど由良地区に乗り捨てているのですが、時には舞鶴市といった遠隔地にまで、乗り捨てるケースがありました。オフシーズンの被害状況につい

てみますと、空巣・車上狙い・自動販売機荒らしなどが発生しており、増加のきざしがみられます。これらについて考えてみますといずれも手口がプロ的な仕業から、広域的に活動する犯罪者と思われます。

以上のことから夏期に集中していた犯罪発生も、件数としては夏期にはとどまらないですが年間を通じていつでも発生する可能性があるといえます。

三　各対応策

①　空き巣

泥棒に夏休み・盆休み・正月休みなどありません。ですから鍵かけ、戸締まりを忘れては、泥棒の思うつぼです。

ちょっとそこまでだから・・・

ております。

〝光陰矢の如し〟と申しますが、改めて今日の私があることを、心から感謝しております。

私は成人式を迎え、世間の若者が話すように、大人として自覚をし、社会人としての責任をもって、行動しなければならないと思います。立派なことは書けませんが、人間的な豊かな考えと、人の話を聞ける、人間としての第一歩を踏み出したいと思います。

社会の生活を共にしている隣人に、和をもって、平凡ですが迷惑をかけず、私自身の人生に責任を持てる範囲で暮らして行きたいと思っております。

礼儀を重んじて「有難う」と言える人間、そして又、「有難う」と言われる人間になりたいと心に念じ、一生懸命生きて行きたいと思います。

四部対抗バレーボール大会

一部　石田正敏

例年にない天候に恵まれ、活気のあるバレーボール大会になったと思いました。

いつもの思うのですが、世代の移り変わりと言うのでもっと変わりたいと思うのですが、初の問題点加の返か

次に、年間行事の中の対外的なものとしては、次のようなものがあります。

一月は宮津農協大会、これは二チーム。十一月には公民館対抗戦、これは吉津公民館で一チーム。栗田地区との親睦大会は十一月中に。その他は宮津仏性寺、或いは桜山会館で六月頃と十一月の文化祭前後にあります。今年は過去二、三年の汚名を返上するため日々研鑽し、新たなる気持ちで精進し、同好会発展のため頑張ってみたいと思います。

いろいろと変なことばかり申し上げたようですが、私達は常に囲碁を通じて社会の輪を広げ、皆様とも仲良くして行きたいと念願しております。最後に皆様の中から数多くの会員ができることを望んでいます。

ありがとうございました

由良の里センター管理運営委員会
中西嘉寿郎

写真（額付）五点　由良の里センターへ
四方壽朗殿

昨年十一月二日、三日の両日、由良の里センターで、四方壽朗先生の「私の由良百景」写真展が催されましたが、その中から厚かましくも選ばせていただいた、次の五点（全紙サイズ）を寄贈していただきました。

一、由良岳から由良川鉄橋を望む
一、冬の由良岳
一、由良馬道の桜
一、由良の祭（神輿かき）
一、由良の祭（奉納太鼓）

由良の里センターへお越しの節は、ご覧下さい。公民館だよりの紙面を拝借してお知らせします。

京都国体市民運動標語入選作品

○橋立を守る心で笑顔の宮津
○よい郷土知ろう守ろう育てよう
○スポーツの輪未来に向けてひろげよう
○市民の輪私とあなたの一歩から
○笑顔でつくろう明るい宮津
○スポーツで結ぶきずなは明日への希望
○花いっぱい今日も明るく笑顔でひらく
○健康へ早寝早起き揃って食事
○まごころがきずく人の和住みよい宮津
○きれいな町ぼくらの力でがんばるぞ

防火の大役あなたが主役

宮津市消防団由良分団